

第3節

人と情報が行き交うにぎわいのあるまちに

展望と課題

◆これまで本市の都心部は、ショッピングや飲食、娯楽など市民の多様なニーズを満たす楽しみの場としての役割を担ってきました。しかし、車社会の進展による近年の大型店の郊外立地やロードサイド型商業の発展等に見られるような立地環境の変化、宅配やインターネットを活用した電子取引等の商業形態の変化などによって、都心部の商業求心力は大きく低下し、本市においても都心部の再生やにぎわいづくりは重要な課題となっています。

◆このような課題に対応するためには、都心部を単に商業機能として捉えるだけでなく、利便性や交通結節機能など蓄積された都市基盤を活かしながら、文化・アメニティ、居住、金融・業務、医療など多様な機能を有する空間として再整備を図ることが必要です。そのためには、事業者と地域が一体となって、主体的に取り組む必要があります。

特に、交流拠点として整備した六角堂広場や市民交流サロン等の公益的空間を、TMOや民間事業者、市民団体等が主体となって利活用できるよう環境を整備するとともに、交通アクセス機能や緑道空間の整備充実を進め、良質な刺激と人々の出会いの場等を作り出すことが重要です。

主要な取組視点

◆広域の人々の多様なニーズに対応し、良質な刺激や様々な出会いなど、人と情報が行き交うにぎわいのあるまちづくりに取り組むため、都心部商業や地域商業の振興を図ります。

◆近年は、高齢化や健康・環境問題への関心が高まる中、心の豊かさや癒しを求めて、観光の形態も少人数・参加体験型・滞在型へと変化しています。筑後川や耳納連山等の自然、豊かな文化・歴史、伝統的町並み、多彩な祭り、スポーツイベントなどは、本市の観光・コンベンションにとって貴重な資源です。

◆さらに、広域合併の実現によってこれらの地域資源が増加するとともに、今後、九州新幹線の全線開業によるインパクト効果も期待できることから、誘客の拡大を図る好機となっています。

◆福岡県と筑後地域が連携し一体となって筑後ネットワーク田園都市圏構想などの取組も始まっています。今後は、これら交流資源や機能を効果的に活用し、本市の魅力積極的にアピールすることによって観光の振興、コンベンションの誘致を図ることが求められています。



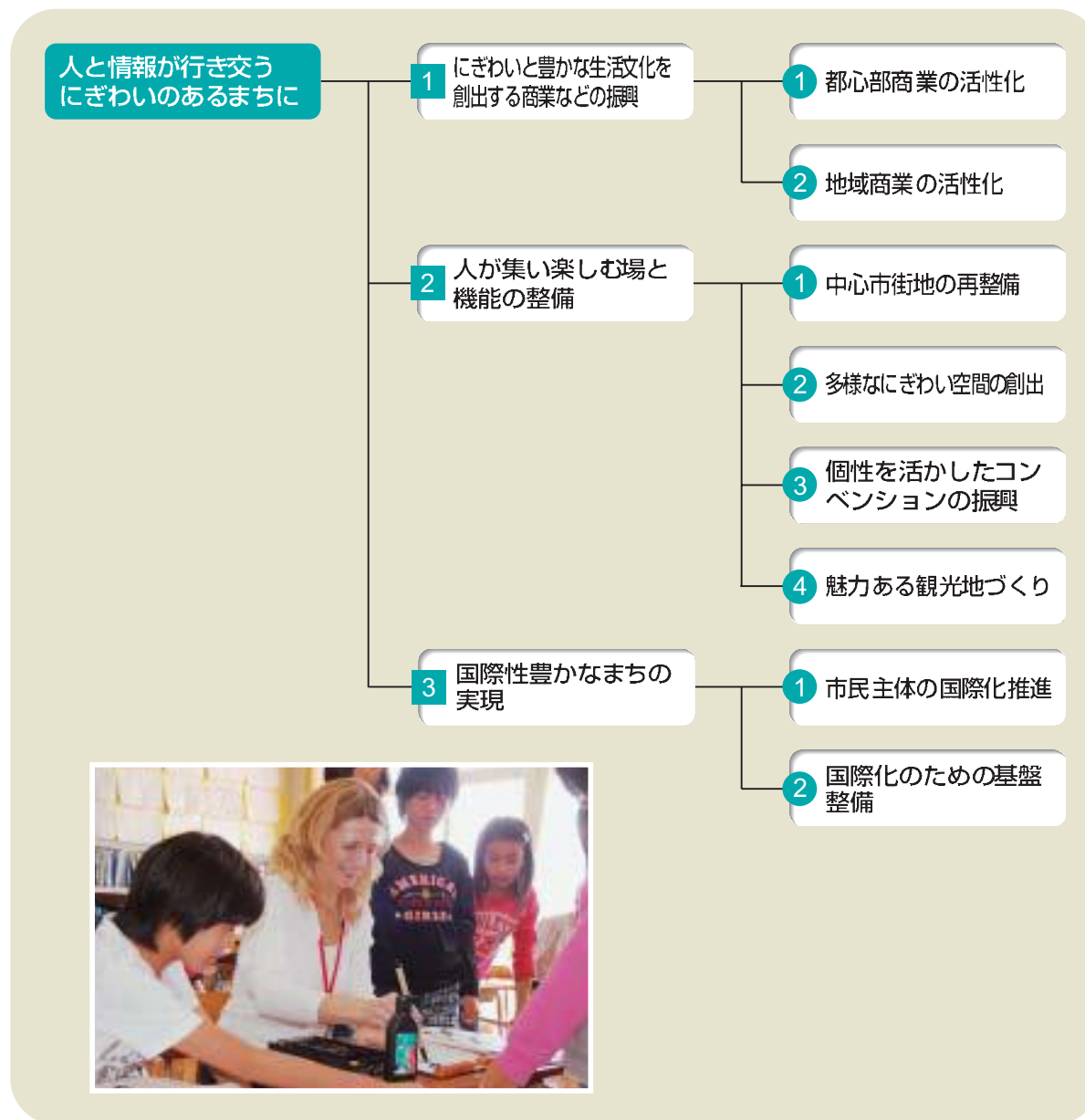
◆特に、都心部においては、身近な親しみやすい店舗づくりや個性的で魅力ある商業機能、さらに、様々な活動や交流の場となる空間整備を進め、都心部の魅力アップに取り組みます。そのために、事業者やTMO、市民活動団体などが連携しながら、六ツ門大学等の地域主体によるにぎわいづくりなどの地域活性化の取組を促進します。

◆また、バリアフリー歩行空間の整備や美しい街並みづくり、市民交流機能や文化・アメニティ機能を充実し、暮らしやすく訪れて楽しい空間づくりを進め、暮らしと交流が共存する広域多機能拠点として整備・充実を進めます。

◆一方、本市の都市個性であり、広域合併によって増加した豊かな自然や歴史・文化、さらに九州新幹線の開業効果などを活かしながら、個性あるコンベンション・観光の振興を促進するために、国内・国際交流の組織体制整備を進めるとともに、地域一体となってもてなす「ほとめき」の意識を醸成します。



施策体系



施策の内容

1 にぎわいと豊かな生活文化を創出する商業などの振興

① 都心部商業の活性化

◆市民グループによる六角堂広場でのイベントの開催や、都心部商店街が主体的に取り組む活動を支援するとともに、中心市街地の商業集積の一体的・計画的な整備をマネジメントするTMOと連携して都心部商業の活性化を図ります。また、都心部機能を活用した多様な交流機能の創出・充実を図るために、市民活動団体や事業者が連携し主体的に取り組む六ツ門大学等の活動を支援します。

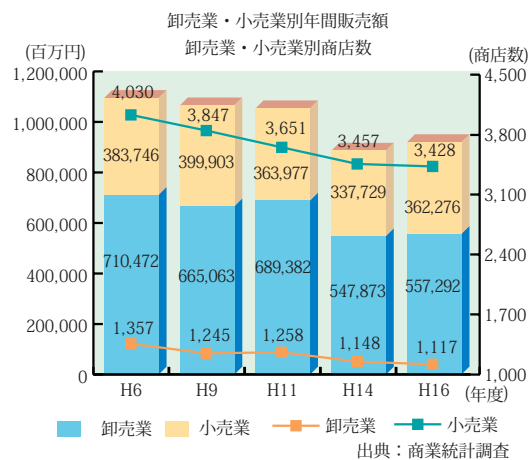


六角堂広場

② 地域商業の活性化

◆市内の既存地域商業については、空き店舗対策など商店街空洞化対策や、地域商業者が一体となって地域振興を図る取組を支援します。

◆悪徳商法など消費者を取り巻く環境が複雑化、多様化している中、消費者相談や消費者教育、消費生活に関する情報の収集や提供など、消費者が自らの責任と判断で行動できるよう支援を進めます。また、消費者の権利擁護及び健全な取引を確保するため、計量検査や普及啓発を行い、適正計量を推進・維持します。



2 人が集い楽しむ場と機能の整備

① 中心市街地の再整備

◆拠点都市機能の充実強化を図るために、これまでの都市ストックや歴史的な蓄積を活かし、拠点機能の中核となる中心市街地の再整備を進めます。そのため、西鉄久留米駅及び花畑駅や、JR久留米駅の交通結節機能の充実を図り、駅周辺を多機能空間として整備活用します。特に、JR久留米駅周辺



九州新幹線久留米駅東口完成イメージ図

については、新幹線の広域高速鉄道機能を最大限に活かした再整備を着実に進めます。

③ 個性を活かしたコンベンションの振興

◆久留米つつじマーチをはじめとした多様なスポーツイベント、学会などの多彩なコンベンション等を誘致し交流を促進します。また、国内外の交流を効果的、効率的に推進する体制の整備等に取り組めます。

◆合併によって増加した地域資源や九州新幹線開業の効果を活かし、観光コンベンション都市づくりを進めます。



久留米つつじマーチ

② 多様なにぎわい空間の創出

◆西鉄久留米駅及び花畑駅、JR久留米駅の三つの鉄道駅に囲まれたエリアを重点整備地区と位置付けた久留米市中心市街地活性化基本計画を検証し、事業者や地域と連携・協力しながら、池町川緑道空間、緑のスポット整備など多様なにぎわい空間づくりを進めます。

④ 魅力ある観光地づくり

◆本市の特性である、水と緑などの自然環境や田園景観、文化・歴史資源を効果的に活用した観光基盤の整備や、交通アクセスの充実等により、魅力ある観光地づくりに取り組めます。

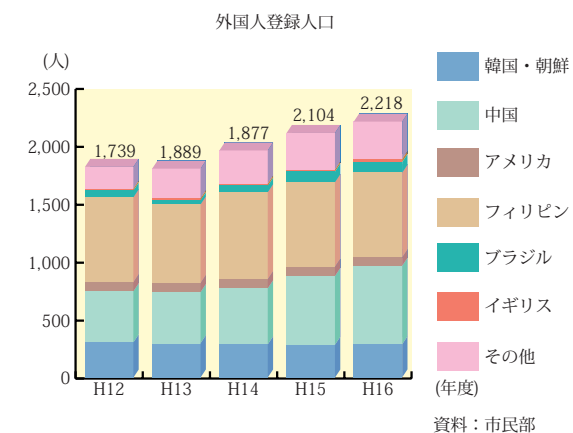
3 国際性豊かなまちの実現

① 市民主体の国際化推進

◆友好都市である合肥市や姉妹都市であるモデスト市などとの交流を進めるとともに、市民主体の国際化に向け、市民の国際交流事業や在久外国人への支援を進めます。

② 国際化のための基盤整備

◆サインの外国語表示やガイドブックの作成、各種の暮らしに関する情報提供、国際交流拠点機能の整備などにより国際性豊かなまちの実現に取り組めます。



施策推進のための主な事業

1 戦略事業

事業名称	事業内容等
中心市街地再整備事業	にぎわい交流機能の強化や都心居住の促進等市街地再整備事業を推進し、都市の魅力づくりと拠点都市機能の向上を図ります。平成26年度までに、中心部商店街の空き店舗率を10%未満に回復させるとともに、中心部商店街歩行者通行量の平成16年度比10%増を目指します。
* JR久留米駅周辺整備事業	九州新幹線の開業・新駅設置を契機として、市の玄関口であるJR久留米駅周辺の交通結節機能の強化や、民間活力等を活かした多様な事業手法による土地利用の転換、居住環境の改善、広域の玄関口に相応しい駅景観の形成等を推進し、にぎわいのあるまちづくりを目指します。平成22年度までに東西の駅前広場、自由通路、アクセス道路等の整備を完了し、平成26年度までにJR久留米駅の1日当たりの乗降客数が19,000人となることを目指します。
* 花畑駅周辺土地区画整理事業	都心部における良好な居住・生活環境の再整備を行い、地域の都市機能の向上を図るため、花畑駅周辺の土地区画整理事業を推進します。平成19年度内に道路等公共用地整備率を100%とし、平成20年度内の事業完了を目指します。
都心部商業活性化事業	TMOや都心部のにぎわい創出イベントへの支援など商業基盤整備に向けて総合的な支援を行い、都心部商業の活性化を図ります。平成26年度までに中心部商店街の空き店舗率を10%未満に回復させることを目指します。
都心部にぎわい空間整備事業	イルミネーション事業の実施など都心部ににぎわいのある空間整備を進め、都心部商業の活性化を図ります。平成26年度までに中心部商店街歩行者通行量の平成16年度比10%増を目指します。
緑化拠点整備事業(再掲)	久留米市中心部の顔である「池町川」に着目し、その両岸歩道を緑のシンボルとなる緑化拠点と位置付け、平成21年度までに池町川起点から国道209号までの計画的な緑道整備を行います。
総合都市プラザ整備事業(再掲)	広域的な地域文化振興と地域経済活性化を図るため、文化施設とコンベンション施設機能を兼ね備えた総合都市プラザの整備に向けて、多様な手法を検討します。

* …主に前期5カ年で取り組む事業です。

2 主要事業

事業名称	事業内容等
サイン事業	田主丸町、三潁町の公共施設をはじめとする各種施設や観光スポットなどに案内表示板を整備し、外来者への案内や地域イメージアップを図ります。



土地区画整理事業が進む西鉄花畑駅周辺

第4節 拠点都市の役割が果たせるまちに

展望と課題

◆本市は、佐賀県東部を含む福岡県南地域の拠点都市として、広域的な就業の場・機会、商業・娯楽・文化等の都市的楽しみや交流、にぎわい、医療・福祉・教育・行政サービス、国際交流・コンベンション、学術研究機能などの高次都市機能を整備・充実することが求められています。

◆特に、広域合併により都市規模や都市エリアが拡大するとともに、特例市から新たな大都市制度である中核市へ移行し、さらなる行政機能の制度的な充実を図ることが求められています。

◆広域交通をはじめとする交通機能の整備に当たっては、本市の都市形態を踏まえながら道路交通の円滑化を図る広域幹

線道路網を整備するとともに、バスや鉄道などの公共交通機関との連結機能の向上、公共交通機関の活用を促進していくことが必要です。特に、高速鉄道網である九州新幹線の開業と併せ、JR久留米駅を含む駅部周辺整備や道路ネットワークの整備を進め、新幹線開通のインパクト効果を、本市の都市づくりに活かすことが重要です。

◆また、地球規模で急速に進展する情報通信技術の高度化への対応や、本市の重要な地域資源である医療機関の集積を活用した都市づくりへの対応などが求められています。

主要な取組視点

◆地球規模の環境変化や、近年の国内における構造的な転換など、将来にわたる長期的な展望のもとに、広域的な都市期待に応えるとともに、県下第3の都市圏の拠点都市として中核市の機能を果たせる都市づくりを進めます。

◆拠点都市としての基盤となる交通基盤については、広域幹線道路網の整備を進めるとともに、公共交通網との結節機能の強化などを図っていきます。外環状道路をはじめとする既存広域幹線道路網の早期整備を進めるとともに、新市域内の一体的な交通移動機能の整備を図る幹線道路網を検討し、既存広域幹線道路との整合ある整備を進めていきます。

また公共交通については、九州新幹線の開業による人・もの・文化の交流拡大、観光や新産業創出等のビジネス効果などを十分に都市づくりに活かすために、駅部周辺を含む都市整備を進めるとともに、

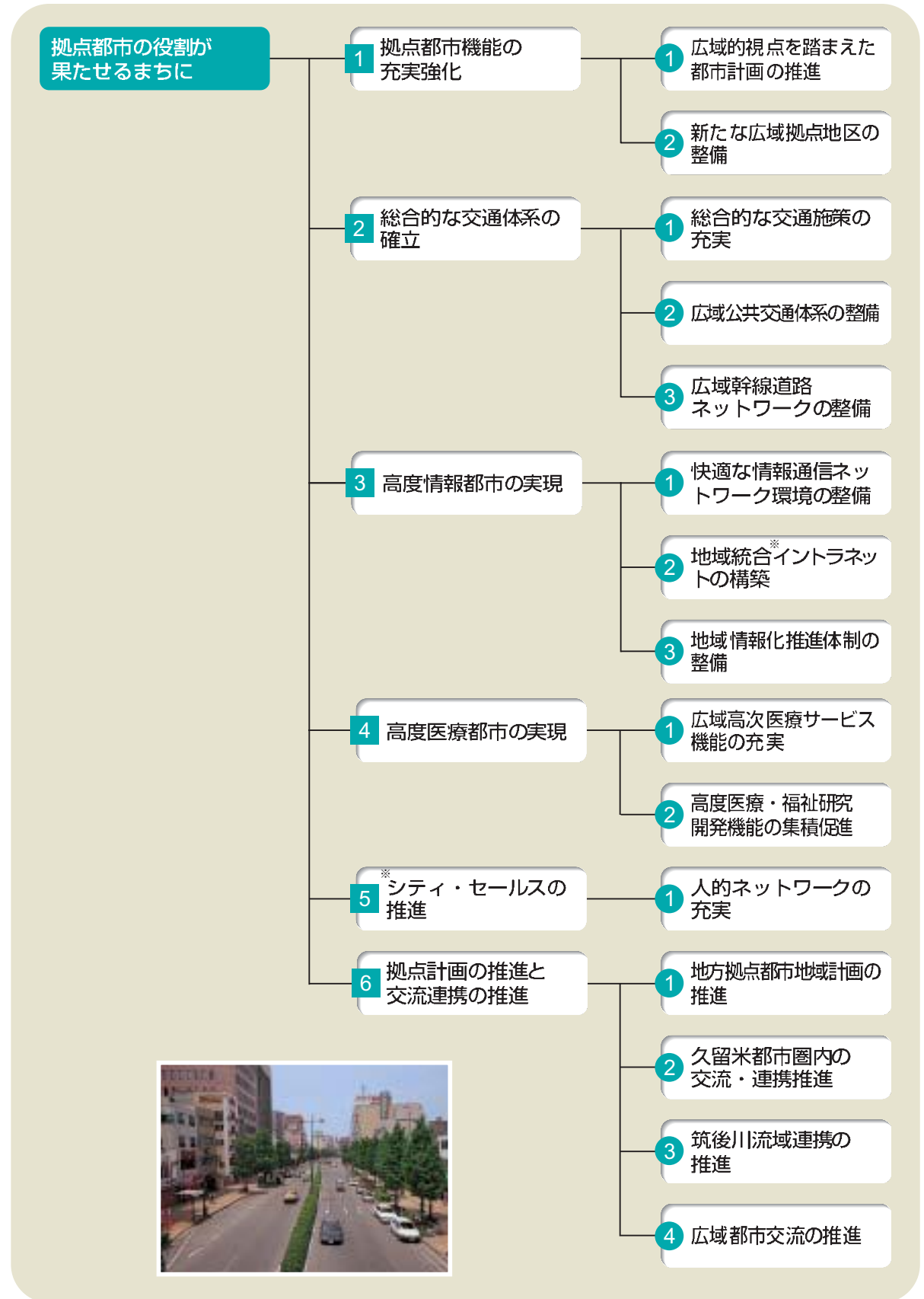
鉄道の東西軸となるJR久大本線の機能強化を図っていきます。

◆情報通信ネットワーク社会の進展に対応し、地域社会の情報化を進める情報通信網の整備や情報通信技術を活用した社会システムの構築などにより、高度情報都市の実現を図ります。

◆本市の地域特性である医療資源は、21世紀社会においてますます重要性を増すとともに、高度化が進む中で、高度医療技術などの研究開発機能の蓄積を図りながら、広域医療サービスにおける高次医療機能や拠点医療機能の整備・充実を図っていきます。

◆また、中核市移行に対応し、広域的な行政サービスにおける機能のあり方の検討を進めながら、将来の地方自治制度の変革に対応した行政サービスにおける拠点機能を今後も担っていきます。

施策体系



施策の内容

1 拠点都市機能の充実強化

① 広域的視点を踏まえた都市計画の推進

◆合併後の本市には、三つの異なる都市計画が存在しており、地区によって土地利用規制等にも違いがあるため、新市の一体的な都市づくりを目的に、新市全体の都市計画のあり方を検討するとともに、広域的な視点を踏まえた都市計画策定に取り組んでいきます。

また、現都市計画で長期間未着手となっている都市施設について再検討を行い、実現性・実効性のある都市計画事業へと見直しを図っていきます。

② 新たな広域拠点地区の整備

◆新たな市街地形成を促進する土地区画整理事業は、鉄道や道路網等の交通網整備、保留地の民間への売却見込み等を十分検討し、新たな居住環境整備等の受け皿となる安武駅東土地区画整理事業に取り組めます。

2 総合的な交通体系の確立

① 総合的な交通施策の充実

◆人口減少社会の到来を目前に控え、路線バス等の既存公共交通機関の維持を図るとともに、市域内外の円滑な移動を図るため、交通機関の結節機能強化や利用促進、交通機関のネットワーク充実、JR久大本線の利便性向上や活性化に取り組めます。

また、地域の交通結節機能の拡充等を図るため、西鉄やJRの駅前広場整備に取り組んでいきます。



西鉄久留米駅前周辺

② 広域公共交通体系の整備

◆国土の骨格となる高速広域交通基盤であり、九州の高速交通ネットワーク形成の根幹である、九州新幹線鹿児島ルート博多～船小屋間の平成22年度完成に向けて取り組むとともに、九州新幹線の円滑な事業推進を図るため、地域要望等に対応しながら側道整備を進めていきます。



九州新幹線イメージ図

③ 広域幹線道路ネットワークの整備

◆本市の放射型の道路形態に対応し、都市骨格の形成、交通渋滞緩和やバイパス機能等の、広域幹線道路の効果的な機能発揮を図るために、中環状道路（合川町津福本町線）、外環状道路（東合川野伏間線）の整備を促進していきます。

また、福岡県や佐賀県、鳥栖市等と連携して、外環状道路の北への延伸等による機能強化を図っていきます。

◆本市中心部から放射状に広がる国道3号、209号、210号、264号、322号、県道久留米柳川線バイパスなどの広域幹線道路は、国や県と連携して整備・拡充を図っていきます。

◆また、新市の一体となった交通の円滑化を図るために、新市域内の整合性ある広域幹線道路ネットワークのあり方を検討し、具体的な幹線道路の整備を図っていきます。



外環状道路（東合川野伏間線）



外環状道路（国道3号～北延）



国道209号津福バイパス開通

3 高度情報都市の実現

① 快適な情報通信ネットワーク環境の整備

◆新市域の光ファイバーやケーブルテレビ等の高速大容量ネットワーク環境整備について、民間事業者等を主体とした整備を図っていきます。

② 地域統合イントラネットの構築

◆新地域統合イントラネットを活用したアプリケーションの充実、電子自治体構築に向けた共同開発・利用、ICカードを活用した行政サービスの充実等に取り組んでいきます。

③ 地域情報化推進体制の整備

◆地域の産学官の連携による、地域IT化推進体制の整備・充実を図っていきます。

4 高度医療都市の実現

① 広域高次医療サービス機能の充実

◆本市の地域資源である多くの高度医療技術を有する医療機関の集積を活かし、広域の医療ニーズに適切に応えることができる医療ネットワークの整備、広域医療サービス機能の充実・強化を図ります。

② 高度医療・福祉研究開発機能の集積促進

◆医療機関などの集積性を活かし、医療・福祉分野の研究開発機関や企業などの誘導により、医療・福祉分野における高度医療・福祉研究開発機能の拠点化を図ります。



久留米大学病院

5 シティ・セールスの推進

① 人的ネットワークの充実

◆東京事務所を拠点に、幅広い人的ネットワークを構築し、各種情報の収集・発信などにより、本市の都市政策の実現を図ります。

6 拠点計画の推進と交流連携の推進

① 地方拠点都市地域計画の推進

◆久留米地方拠点都市地域基本計画の着実な実施とともに、必要に応じて時代に即した見直しを検討していきます。

② 久留米都市圏内の交流・連携推進

◆久留米広域圏内の交流・連携を進めるとともに、時代に即した広域圏のあり方を検討し、政策課題等に対応した久留米都市圏内の広域連携を推進していきます。

③ 筑後川流域連携の推進

◆筑後川流域クロスロード協議会活動や流域住民の主体的な活動を支援し、筑後川流域の市町村や住民の交流・連携を進めます。

④ 広域都市交流の推進

◆福岡県の県土整備の戦略構想である「筑後田園都市圏構想」と連携し、筑後地域が一体となった都市圏の魅力向上・情報発信などによる広域都市交流を進めます。

◆福岡都市圏と佐賀県東部を含む筑後地域の交流や、姉妹都市である郡山市等との交流推進など、広域都市交流を進めていきます。



施策推進のための主な事業

1 戦略事業

事業名称	事業内容等
* 都市計画基本方針策定事業	新市の一体的都市づくりや開発、保全を目的に、土地利用や道路網等の基本的な方針を定めるとともに、長期未着手の都市施設の検討を行い、実現性・実効性のある都市計画事業へと見直しを図ります。平成21年度までに、合併により生じた複数の都市計画区域の整理を行い、平成23年度に都市計画変更を行います。
安武駅東土地区画整理事業	交通 [*] インフラの整備と商業娯楽機能、良好な居住環境などのバランスのとれた複合的な都市空間として、整備を図っていきます。
総合交通ネットワーク事業	路線バス等の既存公共交通機関の維持や交通結節機能の強化、JR久大本線久留米高校南駅（仮称）の整備による利便性向上や活性化に取り組みます。平成26年度には通勤通学者公共交通機関利用率27%以上を目指します。
* 九州新幹線建設促進事業	九州新幹線博多～船小屋間の平成23年春開業を目指して、円滑な事業推進に向けて取り組みます。
* 九州新幹線建設促進事業（側道整備）	九州の高速交通ネットワークの根幹である九州新幹線の円滑な事業推進を図るため、地域の要望等に対応しながら、平成23年春に予定されている新幹線開業までに、新幹線の側道整備完了を目指します。
外環状道路整備事業（東合川野伏間線）	交通渋滞の緩和、都市内交通ネットワークの確立等を図るため、東合川野伏間線の整備を進めていきます。平成18年度に国道3号から北島交差点までの1,110mの供用開始を行います。また、平成22年度までに県事業区間である国道322号から矢取交差点付近1,560mの整備促進を図り、平成23年度までに北島交差点から矢取交差点付近1,260mの整備を目指します。
外環状道路整備事業（北部延伸）	福岡県や佐賀県、鳥栖市等と連携しながら、外環状道路の機能強化を図るため、北部への延伸に取り組みます。

事業名称	事業内容等
中環状道路整備事業（合川町津福本町線）	国道210号をはじめとする幹線道路の渋滞緩和、合川ハイテクパークへのアクセス強化、合川地区の道路環境改善等を図るため、合川町津福本町線の整備に取り組み、平成24年度に国道210号から国道322号十三部交差点間1,010mの整備完了を目指します。
地域統合イントラネット構築事業	地域統合イントラネットを活用した [*] アプリケーションの充実、電子自治体構築に向けた共同開発・利用、ICカードを活用した行政サービスの充実等に取り組み、平成26年度の電子市役所来庁者数年間2,600,000件を目指します。
九州ブロック赤十字血液センター誘致事業	日本赤十字社の県境を越えた効率的な新施設の設置に対応するため、オフィス・アルカディア地区内に用地を取得し、施設の誘致を行い、平成20年度の血液センター操業開始を目指します。

* …主に前期5カ年で取り組む事業です。

2 主要事業

事業名称	事業内容等
三潞駅前広場整備事業	三潞町の玄関口である西鉄三潞駅利用者の利便性向上、交通結節機能の充実を図るため、三潞駅前広場を整備します。
犬塚駅前広場整備事業	西鉄犬塚駅利用者の利便性向上、交通結節機能の充実を図るため、犬塚駅前広場を整備します。
かっぱ駅前乗降口整備事業	JR久大本線田主丸駅の利便性向上を図るため、駅前側市道の整備を進めます。
新駅の駅前広場整備事業	田主丸地区のJR久大本線新駅整備に合わせて、駅前広場の整備を図ります。